

# 災害時の給水場所を増やしました。

昨年の東日本大震災では、応急給水において、長時間、市民の皆さまを待たせるなどのご不便をおかけしました。これらの反省を踏まえ、給水方法や給水場所などの給水活動について、検証を行った結果、給水場所を見直し、22箇所を増やしました。



本紙に関するご意見・ご感想は、日立市企業局上下水道部総務課までお寄せください。

TEL : 0294-22-3111 内線 495 FAX : 0294-22-5088

E-Mail : kigyo-somul@city.hitachi.lg.jp



## 日立市企業局 だより

とどけます 安全でおいしい水を未来まで



Vol.01  
2012.12.5

### 安全安心 水道水は安全！ 放射能の影響はありません。

#### 検査対象

- 水道水 (森山浄水場系)
- 水道水 (十王浄水場系)

#### 検査項目

- 放射性セシウム
- 放射性ヨウ素

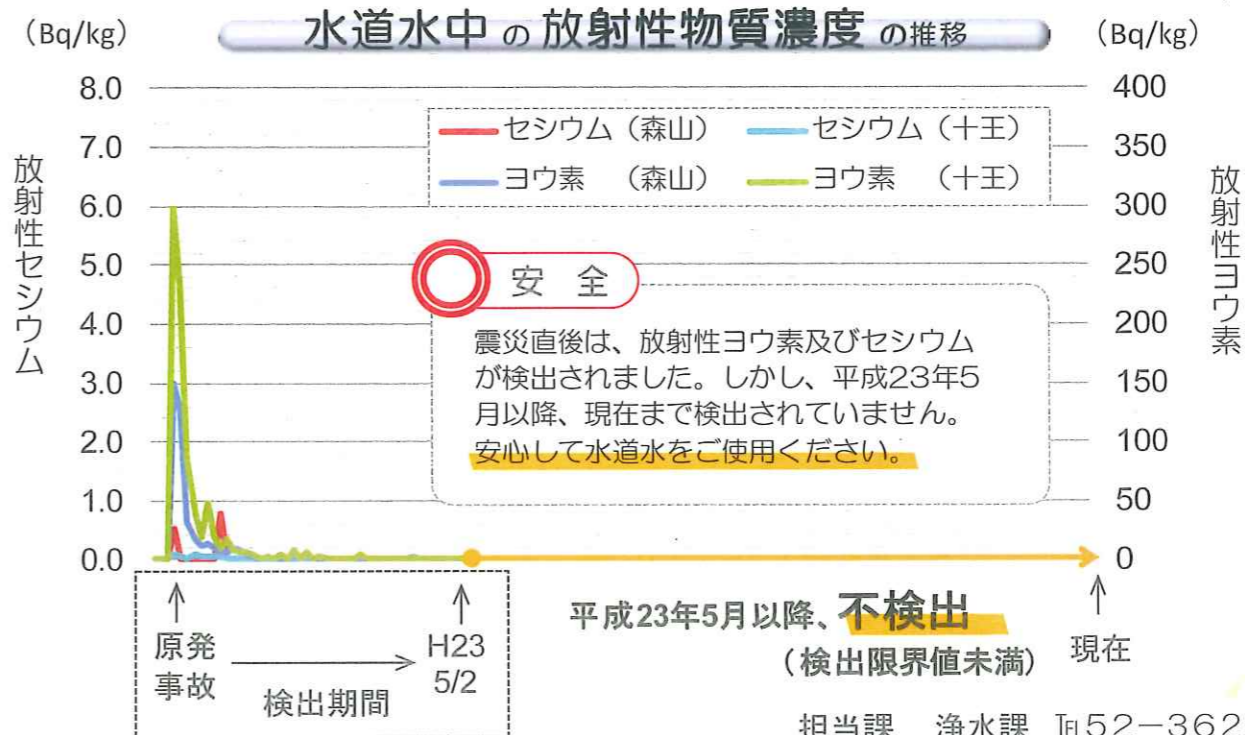
#### 検査頻度

- 現在、週1回検査を実施

※検査頻度は、検出状況により適宜変更します。

詳しくはホームページをご覧ください

**日立市企業局** 検索



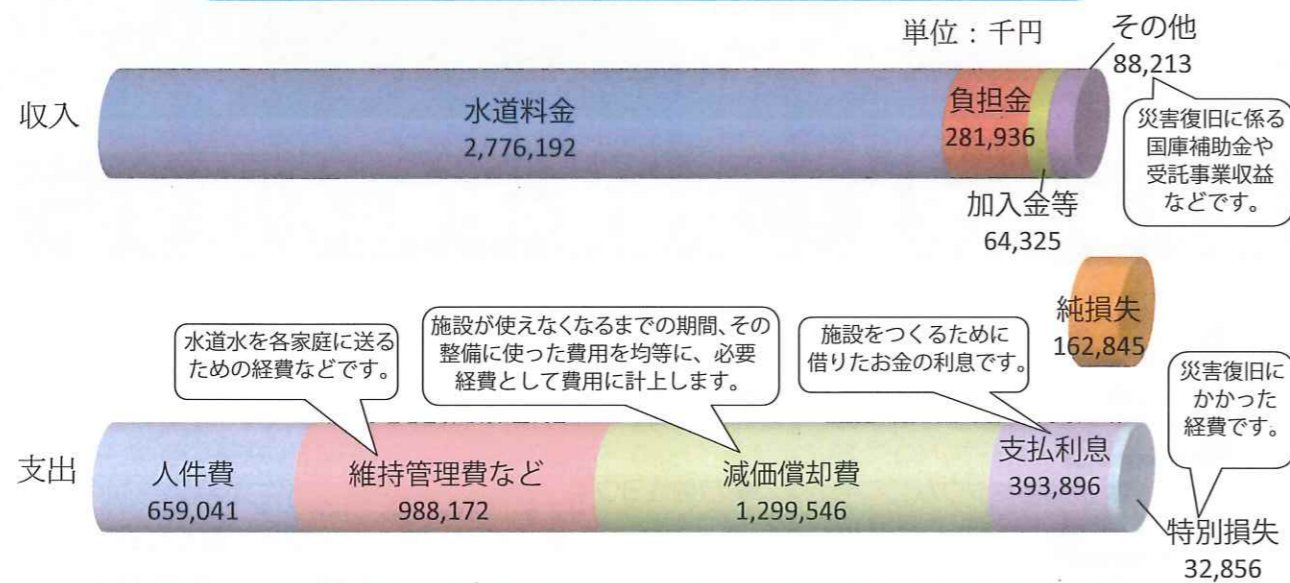
# 上下水道の経営状態はどうなっているの？

上下水道はライフラインの一つとして市民生活に欠かせないものです。企業局では、市民の暮らしと環境を保全するため、安全で良質な水を安定供給し、汚水をきれいに処理して海や川に放流しています。そして、市民の皆さまからいただく水道料金や下水道使用料を主な財源として、水道施設や下水道施設の整備や維持管理を行っています。

今回は、平成23年度の上下水道事業会計の決算状況を、皆さまにお知らせします。

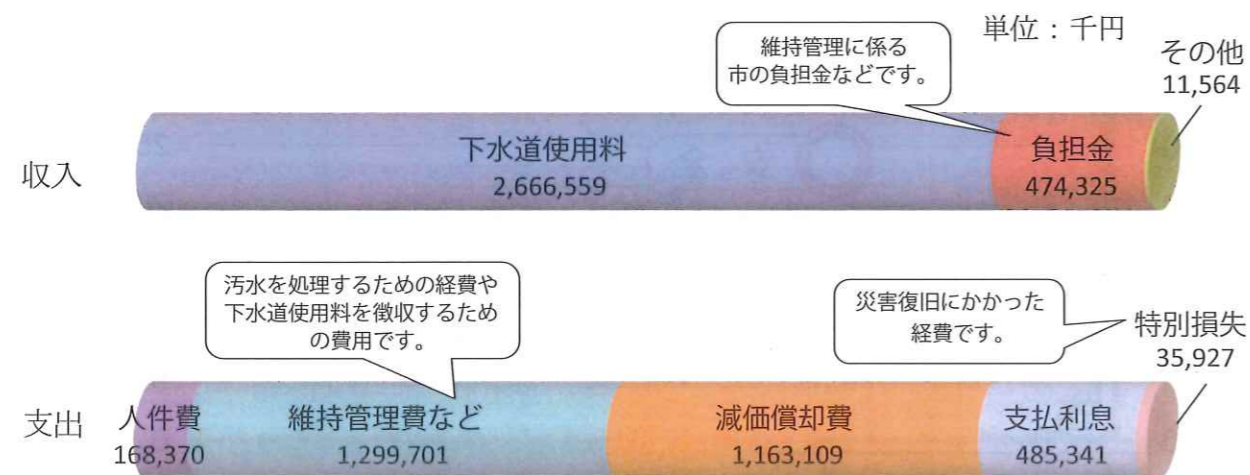
## ● 水道事業会計<収益的収支>

収益的収支とは、水をつくり各ご家庭に届けるまでに必要な収支の状況を表すものです。  
 収入は約32億1,066万円で、前年度に比べ3億9,000万円の減となりました。  
 支出は約33億7,351万円で、前年度に比べ1億8,700万円の減となりました。  
 収支決算で1億6,285万円の純損失となり、8年ぶりの赤字決算となりました。



## ● 下水道事業会計<収益的収支>

収益的収支とは、汚水をきれいに処理し、海や川に放流するために必要な収支の状況を表すものです。  
 収入支出とも、約31億5,244万円で、前年度に比べ1億9,000万円の減となりました。



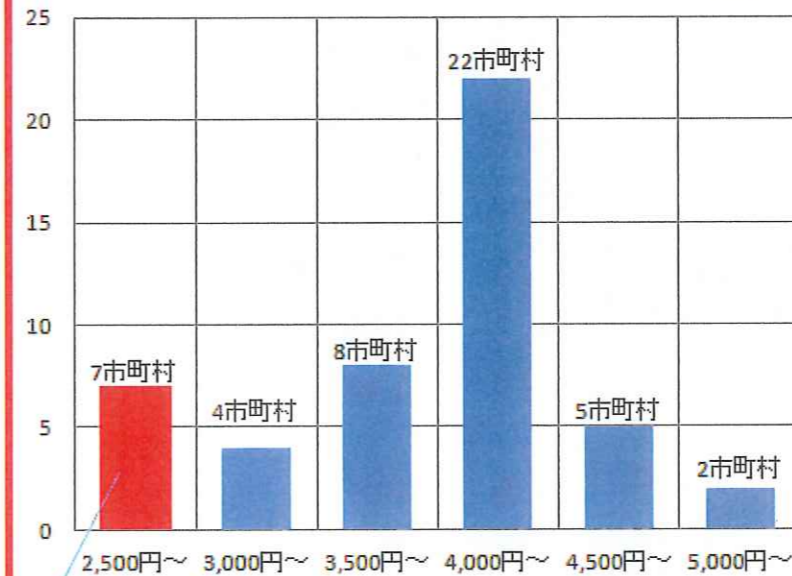
# 水道料金を県内の主な市と比べました。

- 水道料金及び下水道使用料は事業を運営する市町村によって、料金に差があります。今回は、日立市の水道料金について、茨城県内の主な市とくらべてみました。

## 県内1ヶ月あたりの水道料金比較

(水道メーター口径20mmで20立方メートル使用した場合)

平成24年4月1日現在



## ～編集部より～

少し前の話になりますが、9月の平均気温が観測史上2番目という今夏の猛暑では、つらい思いをされた方も多かったのではないのでしょうか。節電対策でエアコンを控えた方も多く、今年も熱中症で病院に運ばれるお年寄りが多く見られました。人体の3分の2は水分であり、水は体温調節に欠かせないものです。水分摂取が少ないと、熱中症だけでなく、脳梗塞や心筋梗塞にもつながると言われています。

このように水は、健康に欠かせないものですが、安全な飲料水を供給する水道に関心が払われることは少ないようです。しかし、歴史を遡ってみれば、古代ローマ帝国は各都市に水道を作り、近世になってからは、パリやロンドンなどの大都市では、いち早く水道、下水道の整備を行うなど、都市の歴史と水道は切っても切り離せない関係にあります。

本市の水道事業は、昭和23年に日立製作所の子会社、日立水道株式会社を買収し、一般家庭に給水したことに始まります。その後、街の拡大とともに拡張を続け、18万7千人に給水する現在の姿になりました。

このような発展を遂げた、本市の水道事業ですが、初期に整備した施設は、耐用年数を超えており、一昨年の大震災では、老朽管の破損で10日間の断水を招くことになってしまいました。今後は、このようなご迷惑をかけることのないよう「これまで築いてきた水道を、健全な姿で次世代に引き継ぐ」ための更新事業が、市政の大きな課題であると考えております。

これからも、水道事業に対し引き続きご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。